

【眼 科】

I. プログラム責任者 林 孝彰

II. 臨床研修到達目標（選択科目履修4週）

1. 一般目標（GIO）

一般臨床医としてプライマリーケアに必要とされる眼科の基本的知識を身につける。

2. 行動目標（SBO）（経験目標）

- 1) 視覚系の解剖・生理を理解する。
- 2) 視覚障害者に対する理解とその対応を理解する。
- 3) 眼科の基本的診察法を習得する。
 - (1) 視力検査ができる。
 - (2) 瞳孔検査、眼位・眼球運動検査、視野検査（対座法）ができる。
 - (3) 直像鏡もしくは倒像鏡眼底検査ができ、正常所見が理解できる。
- 4) 病歴を聴取し、病歴作成ができる。
- 5) 全身疾患に伴う眼合併症について理解し、適切な説明ができる。
 - (1) 糖尿病網膜症につき理解する。
 - (2) アトピー性皮膚炎の眼合併症につき理解する。
 - (3) 薬物投与による眼合併症につき理解する。
- 6) 一般臨床医として眼科疾患を理解する
 - (1) 急性緑内障発作を診断できる。
 - (2) 流行性角結膜炎などの伝染性眼疾患を診断できる。
 - (3) うっ血乳頭が診断できる。
 - (4) 外傷性視神経損傷を診断できる。
 - (5) 眼球破裂を診断できる。
- 7) 眼科基本処置ができる。
 - (1) 眼瞼反転ができる。
 - (2) 眼化学損傷の救急処置ができる。
 - (3) 急性緑内障発作の救急処置ができる。

3. プログラム

1) 第1週

- (1) 眼科一般検査法を習得する。

視力検査、瞳孔検査、眼位・眼球運動検査、視野検査（対座法）、直像鏡もしくは倒像鏡眼底検査

(2)眼科外来において眼科一般診療を見学する。

2)第2～3週

(1)眼科一般検査法を眼科外来にて検査する。

視力検査、瞳孔検査、眼位・眼球運動検査、視野検査（対座法）、直像鏡もしくは倒像鏡眼底検査

(2)全身疾患に伴う眼合併症の病態を理解し、実際の症例を体験する。

①糖尿病網膜症

②アトピー性皮膚炎の眼合併症

③薬物投与による眼合併症

(3)眼科疾患を理解する。実際の症例を体験し、救急処置を学ぶ。

①急性緑内障発作を診断する。

②流行性角結膜炎などの伝染性眼疾患を診断する。

③うっ血乳頭を診断する。

④外傷性視神経損傷を診断する。

⑤眼球破裂を診断する。

(4)眼科基本処置を体験する。

①眼瞼の反転法を学ぶ。

②眼洗浄法を学ぶ。

3)第4週

(1)初診症例の医療面接を行う。

(2)眼科一般検査法を行う。

(3)視覚障害者の対応を学ぶ。

Ⅲ．眼科臨床研修到達目標（選択科目履修8週）

1．一般目標（GIO）

一般臨床医としてプライマリーケアに必要とされる眼科の基本的な検査を身につける。

2．行動目標（SBO）（経験目標）

1) 眼科の一般的な検査の結果を理解する。

(1) 正常眼底を理解し、眼底写真より病的な所見を判定する。

(2) 視力検査より屈折異常の診断を尾k内

2) 一般臨床医に必要な眼疾患の病態と眼所見を理解する。

3) 眼科リハビリテーション学を学ぶ。

- (1) 視力検査ができる。
- (2) 瞳孔検査、眼位・眼球運動検査、視野検査（対座法）ができる。
- (3) 直像もしくは倒像眼底検査ができ、正常所見が理解できる。
- 4) 病歴を聴取し、病歴作成ができる。
- 5) 全身疾患に伴う眼合併症について理解し、適切な説明ができる。
 - (1) 糖尿病網膜症につき理解する。
 - (2) アトピー性皮膚炎の眼合併症につき理解する。
 - (3) 薬物投与による眼合併症を理解する。
- 6) 一般臨床医として眼科疾患を理解する。
 - (1) 急性緑内障発作を診断できる。
 - (2) 流行性角結膜炎などの伝染性眼疾患を診断できる。
 - (3) うっ血乳頭が診断できる。
 - (4) 外傷性視神経損傷を診断できる。
 - (5) 眼球破裂を診断できる。
- 7) 眼科基本処置ができる。
 - (1) 眼瞼反転ができる。
 - (2) 眼化学損傷の救急処置ができる。
 - (3) 急性緑内障発作の救急処置ができる。

3. プログラム

1) 第4週

- (1) 眼科一般検査法を修得する。
 - 視力検査、瞳孔検査、眼位・眼球運動検査、視野検査（対座法）、直像鏡もしくは倒像鏡眼底検査
- (2) 眼科外来において眼科一般診療を見学する。

2) 第5～7週

- (1) 眼科一般検査法を眼科外来にて検査する
 - 視力検査、瞳孔検査、眼位・眼球運動検査、視野検査（対座法）、直像鏡もしくは倒像鏡眼底検査
- (2) 全身疾患に伴う眼合併症の病態を理解し、実際の症例を体験する。
 - ① 糖尿病網膜症
 - ② アトピー性皮膚炎の眼合併症
 - ③ 薬物投与による眼合併症
- (3) 眼科疾患を理解する。実際の症例を体験し、救急処置を学ぶ。
 - ① 急性緑内障発作を診断する。
 - ② 流行性角結膜炎などの伝染性疾患を診断する。
 - ③ うっ血乳頭を診断する。
 - ④ 外傷性視神経損傷を診断する。

- ⑤ 眼球破裂を診断する。
- (4) 眼科基本処置を体験する。
 - ① 眼瞼の反転法を学ぶ。
 - ② 眼洗浄法を学ぶ。
- 3) 第8週
 - (1) 初診症例の医療面接を行う。
 - (2) 眼科一般検査法を行う。
 - (3) 視覚障害者の対応を学ぶ。

IV. 眼科臨床研修到達目標（選択科目履修12週）

1. 一般目標（GIO）

一般臨床医としてプライマリーケアに必要とされる眼科の診療手技を身につける。

2. 行動目標（SBO）（経験目標）

- 1) 主な眼底疾患の眼底所見がわかる。

糖尿病網膜症、網膜動脈閉塞症、網膜静脈閉塞症、加齢黄斑変性、血液疾患による網膜症、各種ぶどう膜炎、視神経炎など
- 2) 眼科の基本的診察法を習得する。
 - (1) 細隙灯顕微鏡検査、倒像鏡眼底検査ができ、正常所見がわかる。
 - (2) 眼圧検査ができる。
 - (3) 眼底写真が撮れる。
 - (4) 複像検査ができる。
 - (5) 視野検査ができる。
- 3) 眼科基本処置ができる。
 - (1) 涙嚢洗浄ができる。
 - (2) 麦粒腫切開ができる。
 - (3) 結膜異物除去ができる。
 - (4) 眼瞼皮膚縫合ができる。
 - (5) 結膜縫合ができる。
- 4) 眼科手術の麻酔法、消毒法を理解し、術前術後処置ができる。

3. プログラム

- 1) 全身疾患に関連する眼底疾患症例を経験する。（一般外来・各専門外来）糖尿病網膜症、網膜動脈閉塞、網膜静脈閉塞、加齢黄斑変性、血液疾患による網膜症、各種ぶどう膜炎、うっ血乳頭など。
- 2) 眼科の基本的診察法を習得する。
 - (1) 一般外来で初診症例の病歴を聴取し、病歴作成をする。

- (2) 症例の眼科一般検査を施行する。
- (3) 眼底写真の撮影法を学ぶ。
- (4) 複像検査法を学ぶ。
- (5) ゴールドマン視野検査、ハンフリー視野検査を行う。
- 3) 眼科外来において眼科基本処置を行う。
- 4) 眼科入院患者の術前・術後管理を行う。
- 5) 眼科手術を見学する。
- 6) 症例検討会に出席する。

V. 眼科臨床研修到達目標（選択科目履修 16 週）

1. 一般目標（G I O）

一般臨床医に必要とされる眼科の診療手技を身につけ、眼科専門医に必要な知識の習得をはかる。

2. 行動目標（S B O）（経験目標）

- 1) 眼科の基本的診察法を習得する。
 - (1) 眼位、眼球運動、瞳孔の所見がとれる。
 - (2) 前眼部所見がとれる。
 - (3) 後眼部所見がとれる。
 - (4) 蛍光眼底造影撮影ができる。
 - (5) 眼科超音波検査ができる。
- 2) 眼科基本処置ができる。
 - (1) 強膜縫合ができる。
 - (2) 角膜縫合ができる。
 - (3) 眼瞼縫合手術ができる。
 - (4) 角膜異物除去ができる。

3. プログラム

- 1) 眼科外来で、初診症例の診察を行い、指導医の指示を受ける。
- 2) 眼底撮影、蛍光眼底撮影を行う。
- 3) 眼科超音波検査を行う。
- 4) 眼科外来において、眼科基本処置を行う。
- 5) 病棟にて入院症例の診察、処置を行う。
- 6) 眼科手術の助手として消毒を行い、麻酔法を見学する。
- 7) 症例検討会に出席し、発表を行う。